

年頭のごあいさつ



幌延町議会議長

藤井 秀夫

す。私どもの明日に影響がある選挙ですので、しっかりと考え投票をしたいものです。

社会面に目を向けますと、一昨年は、小学校低学年の児童が被害にあつ、痛ましい事件が連続し、昨年はいじめなどにより将来を担う大事な子供たちが、自ら尊い生命を絶つ痛ましい事件が連日報道されました。被害者のご家族、子どもを持つ親御さんや、学校関係者皆様の心労を思うと言葉もございません。子どもたちが^{かたう}闊達で笑顔が絶えない安全で安心のできるまちづくりを、行政と町民の皆様と共に議会も努力してまいる所存でございます。本年は、深地層研究施設計画も、夏には展望タワーを備えたPR館がオープンし、本町観光に大いに期待をするところです。

日本経済においては、戦後最長の「いざなぎ景気」を超えたと昨年発表されましたが、これは都市部においての話で、私どもの地域では「三位一体の改革」による地方交付税の削減等々、今後も厳しい財政運営を余儀なくされている状況です。

しかしながら、私どもは自分達の住む町を

より豊かで住みよい「住んで良かった」と言う町づくりを、二期目となる宮本町政を力強くバックアップしつつも、厳しい目で監視し、提言をしてまいらなければなりません。

新しい年を迎えるにあたり、議決機関たる町議会といたしましては、幌延町民の皆様のも更なるお力とご助言をいただき、複雑多様化する町政と住民ニーズに慎重に対応し、住みよい町「ほろのべ」を目指して汗を流してまいる所存ですので、どうか今年も町民の皆様との相変わらぬご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



新春を迎え、幌延町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、常日頃より町議会に対し、温かいご理解とご支援を戴くとともに厳しいご叱責をも戴き心よりお礼を申し上げます。

昨年十一月には町長選挙が実施され、町民の皆様は宮本町政二期目を選択されました。また、私ども町議会議員も、今年四月には定数二名減の十名とした町議会議員選挙が行われ、町民皆様の審判をいただくこととなります。

今年には選挙の年で、国では参議院議員、北海道では知事、道議会議員選挙が実施されま